

～ 今月は芸術工学研究科の機器を紹介します ～

機器紹介 眼球運動測定装置一式 TalkEye II

利用料
0円

設置場所：芸術工学棟 1階EWS室

眼球運動の測定装置として、大別してふたつの用途に対応した機器を備えています。

ひとつは、美術館での鑑賞行動など、被験者が移動しながらの測定が可能なタイプの機器です。被験者は測定装置を装着します。

もうひとつは、ウェブサイトなど、ディスプレイに表示される刺激に対する視線の測定をする機器です。被験者は装置を装着する必要がありません。



※他にも機器により特性が異なりますので、具体的には個別にお問い合わせください。
芸術工学研究科 大坪 牧人 (ohtsubo@sda.nagoya-cu.ac.jp / TEL:052-721-1244)

機器紹介 高精細3Dプリンタ AGILISTA-3200

利用料

モデル材+サポート材(持込)：約20万円
レーザーヘッド：3900円/回

設置場所：芸術工学棟 1階 EWSサーバー室

- ・すばやく試作品を作製できます。3D-CADソフトのファイルフォーマットのひとつであるSTL形式に3Dモデルを変換することで積層造形できます。
- ・モデル材には高い靱性のアクリル系樹脂と柔らかい特性のシリコン系樹脂とがあり、造形物の形状を支えるサポート樹脂が別途造形過程で造形物周囲に付着はしますが、柔らかく水溶性のため除去が簡単です。
- ・デザイン・組み付け・機能などの確認からプレゼンテーション用モックアップ作製、治具作製など、様々な用途に有用です。



- ・造形サイズ | A4サイズ×200 mm
 - ・平面解像度 | 635×400 dpi
 - ・高さ解像度 | 15 μm
- 機能詳細は、下記サイトをご覧ください
www.agilista.jp

※使用法、材料、利用料などの詳細については、ご遠慮なくお問い合わせください。
芸術工学研究科 加藤 大香士 (kato@sda.nagoya-cu.ac.jp / TEL:052-721-6548)

システム自然科学研究科 笹森教授が
共用機器を活用した論文を発表！

共用機器センター事務局より

現在、共用機器の数は144機器あります。
共用機器を活用した研究成果を発表する際は、共用機器利用の旨の記載をお願いします。例文はホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ>図書館・病院・附属施設>附属施設>共用機器センター

問い合わせ

共用機器センター（事務局学術課内）

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

☎ 桜山 8103（山田）、桜山 8008（高木）

✉ ncu_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp